

○専門課程の高度職業訓練				居住システム系住環境科(元)				居住システム系住環境科(改定案)				※赤字は、削除。青字は、追加。	
教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における変更・改正の理由	専門調査員会における指摘事項
系基礎学科	1	建築概論	35	建築史、建築技術に関する変遷、住まいの歴史、住まいと社会	1	建築概論	35	建築史 、建築技術に関する変遷、 住まい 建築の歴史、 住まい 建築と社会	1	建築概論	35	住宅を対象とした表現を、実用を鑑み、建築全体を対象とした表現に変更した。また、変更により重複する内容を削除した。	
	2	情報工学概論	35	建築におけるコンピュータの利用方法、ハードウェアとソフトウェアの基礎知識、コンピュータリテラシー	2	情報工学概論	35	建築におけるコンピュータの利用方法、ハードウェアとソフトウェアの基礎知識、コンピュータリテラシー	2	情報工学概論	35		
	3	環境工学概論	35	気候と気象、温熱環境、伝熱、湿気、日照・日射、音環境、色彩、換気	3	環境工学概論	35	気候と気象、温熱環境、伝熱、湿気、日照・日射、音環境、色彩、換気	3	環境工学概論	35		
	4	構造力学	35	力の釣合、構造物と荷重・外力、支点反力、静定構造物の応力	4	構造力学	35	力の釣合、構造物と荷重・外力、支点反力、静定構造物の応力	4	構造力学	35		
	5	建築計画基礎	35	空間の形、人間の知覚・行動、寸法・規模、建築空間の性能、計画技法	5	建築計画基礎	35	空間の形・寸法・規模、人間の知覚・行動、 寸法・規模 、建築空間の性能、計画技法	5	建築計画基礎	35	関連する内容を統合して表現した。	
	6	建築構法	35	構造躯体(木質構造、鋼構造、鉄筋コンクリート構造、組積造)、仕上げ(内装、外装)、工業化	6	建築構法	35	構造躯体(木質構造、鋼構造、鉄筋コンクリート構造、組積造)、仕上げ(内装、外装)、工業化	6	建築構法	35		
	7	建築材料基礎	35	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料	7	建築材料基礎	35	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料	7	建築材料基礎	35		
	8	建築設備	35	建築設備の目的・種類、空気調和設備、換気設備、給排水・衛生設備、ガス設備、消火設備、電気設備、搬送設備	8	建築設備	35	建築設備の目的・種類、空気調和設備、換気設備、給排水・衛生設備、ガス設備、消火設備、電気設備、搬送設備	8	建築設備	35	実状をより適切に表現するように、一部を削除した。	
	9	仕様及び積算	35	仕様書の見方、建築数量積算基準、工事費の構成、工種別数量の計測・計量、内訳書作成	9	仕様及び積算	35	仕様書の見方、建築数量積算基準、工事費の構成、工種別数量の計測・計量、内訳書作成	9	仕様及び積算	35		
	10	生産工学	35	建築生産の特徴、建築生産体制、建築工事の発注と契約、建築生産の流れ	10	生産工学	35	建築生産の特徴、建築生産体制、建築工事の発注と契約、建築生産の流れ	10	生産工学	35		
	11	安全衛生工学	35	安全の原則、労働災害と対策、労働環境、労働安全衛生に関する法規	11	安全衛生工学	35	安全の原則、労働災害と対策、労働環境、労働安全衛生に関する法規	11	安全衛生工学	35		
	12	関係法規	35	建築基準法、建設業法、建築士法、消防法、都市計画法	12	関係法規	35	建築基準法、建設業法、建築士法、消防法、都市計画法	12	関係法規	35		
	系基礎学科合計		420		系基礎学科合計		420		系基礎学科合計		420		
系基礎実技	1	基礎工学実験	55	計測の基礎、圧縮・引張試験、ひずみの測定、温度の測定、線膨張率の測定、データ処理	1	基礎工学実験	55	計測の基礎、 圧縮・引張 材料の強度試験、ひずみの測定、温度の測定、線膨張率の測定、データ処理	1	基礎工学実験	55	内容を適切に表現する汎用性がある語句として表現した。	
	2	基礎製図	60	製図通則、図法、木造建物の製図、RC造建物の製図、プレゼンテーション	2	基礎製図	60	製図通則、 図法 、 平面図 ・ 立面図 ・ 断面図 、木造建物の製図、RC造建物の製図、 立体表現図法 、プレゼンテーション	2	基礎製図	60	具体的な内容を示す語句に置き換えた。	
	3	情報処理実習	65	CAD、画像処理、文書作成、表計算	3	情報処理実習	65	CAD、画像処理、文書作成、表計算	3	情報処理実習	65		
	4	安全衛生作業法	35	服装・保護具、作業場の整理整頓、機械・器具の安全作業、建築作業の安全、応急処置	4	安全衛生作業法	35	服装・保護具、作業場の整理整頓、機械・器具の安全作業、建築作業の安全、応急処置	4	安全衛生作業法	35		
	系基礎実技合計		215		系基礎実技合計		215		系基礎実技合計		215		
専攻学科	1	建築計画	35	居住施設、病院、事務所、商業施設、公共施設	1	建築計画	35	住宅 、居住施設、病院、事務所、商業施設、公共施設	1	建築計画	35	居住施設に住宅を含むと考えられるものの、住宅は単独であっても良いのではないかと考えから、また、「専攻実技 3 建築設計実習」では住宅と居住施設は別表記であることとの整合性から、「住宅」を追加した。	
	2	環境工学	35	温熱環境、断熱性能、気密性能、換気方式、吸音・遮音・騒音、照度基準、照明	2	環境工学	35	温熱環境、断熱性能、気密性能、換気方式、吸音・遮音・騒音、照度基準、 照明	2	環境工学	35	照明は、住環境計画の室内環境に含まれるため削除。	
	3	建築材料	35	仕上材料(内装材、外装材)、機能材料(断熱材、遮音材、防水材)	3	建築材料	35	仕上材料(内装材、外装材)、機能材料(断熱材、遮音材、防水材)	3	建築材料	35		
	4	建築施工	70	施工計画、施工図、各種工事の特徴、工程管理、安全管理	4	建築施工	70	施工計画、施工図、各種工事の特徴、工程管理、安全管理	4	建築施工	70		
	5	住環境計画	35	室内環境、インテリア空間の構成、人間工学、インテリアエレメント、インテリア計画技法	5	住環境計画	35	室内環境、インテリア空間の構成、人間工学、インテリアエレメント、インテリア計画技法	5	住環境計画	35		
	6	建築構造力学	70	応力度とひずみ度、断面の性質、材料の力学的性質、部材の設計(断面算定)、梁の変形、座屈、不静定構造物の応力	6	建築構造力学	70	応力度とひずみ度、断面の性質、材料の力学的性質、部材の設計(断面算定)、梁の変形、座屈、不静定構造物の応力	6	建築構造力学	70		
	7	建築構造設計	35	構造計画の考え方、構造計算	7	建築構造設計	35	構造計画の考え方、構造計算	7	建築構造設計	35		
	専攻学科合計		315		専攻学科合計		315		専攻学科合計		315		
専攻実技	1	建築材料実験	70	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料	1	建築材料実験	70	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料	1	建築材料実験	70		
	2	環境工学実験	70	温熱環境の測定、室内空気質の測定、換気量の測定、昼光率・室内照度分布の測定、騒音の測定	2	環境工学実験	70	温熱環境の測定、室内空気質の測定、換気量の測定、昼光率・室内照度分布の測定、騒音の測定	2	環境工学実験	70		
	3	建築設計実習	180	住宅、居住施設、公共施設、複合施設	3	建築設計実習	180	住宅、居住施設、公共施設、複合施設	3	建築設計実習	180		
	4	建築施工実習	180	施工図面の作成、墨出し作業、部材の加工、躯体の建て方、仕上げ	4	建築施工実習	180	施工図面の作成、墨出し作業、部材の加工、躯体の建て方、仕上げ	4	建築施工実習	180	文言の統一による。	
	5	建築測量実習	35	測量機器の使用法、距離測量、水準測量、角測量、測量誤差の計算、工事測量	5	建築測量実習	35	測量機器の使用法、距離測量、水準測量、角測量、測量誤差の計算、工事測量	5	建築測量実習	35		
	専攻実技合計		535		専攻実技合計		535		専攻実技合計		535		

○専門課程の高度職業訓練				居住システム系建築科(元)				居住システム系建築科(改定案)				※赤字は、削除。青字は、追加。	
教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における変更・改正の理由	専門調査会における指摘事項
系基礎学科	1	建築概論	35	建築史、建築技術に関する変遷、住まいの歴史、住まいと社会	1	建築概論	35	建築史 、建築技術に関する変遷、 住まい 建築の歴史、 住まい 建築と社会	1	建築概論	35	住宅を対象とした表現を、実用を鑑み、建築全体を対象とした表現に変更した。また、変更により重複する内容を削除した。	
	2	情報工学概論	35	建築におけるコンピュータの利用方法、ハードウェアとソフトウェアの基礎知識、コンピュータリテラシー	2	情報工学概論	35	建築におけるコンピュータの利用方法、ハードウェアとソフトウェアの基礎知識、コンピュータリテラシー	2	情報工学概論	35		
	3	環境工学概論	35	気候と気象、温熱環境、伝熱、湿気、日照・日射、音環境、色彩、換気	3	環境工学概論	35	気候と気象、温熱環境、伝熱、湿気、日照・日射、音環境、色彩、換気	3	環境工学概論	35		
	4	構造力学	35	力の釣合、構造物と荷重・外力、支点反力、静定構造物の応力	4	構造力学	35	力の釣合、構造物と荷重・外力、支点反力、静定構造物の応力	4	構造力学	35		
	5	建築計画基礎	35	空間の形、人間の知覚・行動、寸法・規模、建築空間の性能、計画技法	5	建築計画基礎	35	空間の形・寸法・規模、人間の知覚・行動、 寸法・規模 、建築空間の性能、計画技法	5	建築計画基礎	35	関連する内容を統合して表現した。	
	6	建築構法	35	構造躯体(木質構造、鋼構造、鉄筋コンクリート構造、組積造)、仕上げ(内装、外装)、工業化	6	建築構法	35	構造躯体(木質構造、鋼構造、鉄筋コンクリート構造、組積造)、仕上げ(内装、外装)、工業化	6	建築構法	35		
	7	建築材料基礎	35	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料	7	建築材料基礎	35	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料	7	建築材料基礎	35		
	8	建築設備	35	建築設備の目的・種類、空気調和設備、換気設備、給排水・衛生設備、ガス設備、消火設備、電気設備、搬送設備	8	建築設備	35	建築設備の目的・種類、空気調和設備、換気設備、給排水・衛生設備、ガス設備、消火設備、電気設備、搬送設備	8	建築設備	35	実状をより適切に表現するように、一部を削除した。	
	9	仕様及び積算	35	仕様書の見方、建築数量積算基準、工事費の構成、工種別数量の計測・計量、内訳書作成	9	仕様及び積算	35	仕様書の見方、建築数量積算基準、工事費の構成、工種別数量の計測・計量、内訳書作成	9	仕様及び積算	35		
	10	生産工学	35	建築生産の特徴、建築生産体制、建築工事の発注と契約、建築生産の流れ	10	生産工学	35	建築生産の特徴、建築生産体制、建築工事の発注と契約、建築生産の流れ	10	生産工学	35		
	11	安全衛生工学	35	安全の原則、労働災害と対策、労働環境、労働安全衛生に関する法規	11	安全衛生工学	35	安全の原則、労働災害と対策、労働環境、労働安全衛生に関する法規	11	安全衛生工学	35		
	12	関係法規	35	建築基準法、建設業法、建築士法、消防法、都市計画法	12	関係法規	35	建築基準法、建設業法、建築士法、消防法、都市計画法	12	関係法規	35		
系基礎学科合計		420		系基礎学科合計		420		系基礎学科合計		420			
系基礎実技	1	基礎工学実験	55	計測の基礎、圧縮・引張試験、ひずみの測定、温度の測定、線膨張率の測定、データ処理	1	基礎工学実験	55	計測の基礎、 圧縮・引張材料 の強度試験、ひずみの測定、温度の測定、線膨張率の測定、データ処理	1	基礎工学実験	55	内容を適切に表現する汎用性がある語句として表現した。	
	2	基礎製図	60	製図通則、図法、木造建物の製図、RC造建物の製図、プレゼンテーション	2	基礎製図	60	製図通則、 図法 、 平面図 ・ 立面図 ・ 断面図 、木造建物の製図、RC造建物の製図、 立体表現図法 、プレゼンテーション	2	基礎製図	60	具体的な内容を示す語句に置き換えた。	
	3	情報処理実習	65	CAD、画像処理、文書作成、表計算	3	情報処理実習	65	CAD、画像処理、文書作成、表計算	3	情報処理実習	65		
	4	安全衛生作業法	35	服装・保護具、作業場の整理整頓、機械・器具の安全作業、建築作業の安全、応急処置	4	安全衛生作業法	35	服装・保護具、作業場の整理整頓、機械・器具の安全作業、建築作業の安全、応急処置	4	安全衛生作業法	35		
系基礎実技合計		215		系基礎実技合計		215		系基礎実技合計		215			
専攻学科	1	建築計画	35	居住施設、病院、事務所、商業施設、公共施設	1	建築計画	35	住宅 、居住施設、病院、事務所、商業施設、公共施設	1	建築計画	35	居住施設に住宅を含むと考えられるものの、住宅は単独であっても良いのではないかとの考えから、また、「専攻実技 2 建築設計実習」では住宅と居住施設は別表記であることとの整合性から、「住宅」を追加した。	
	2	建築構造	70	構造計画の考え方、木質構造、鉄筋コンクリート構造、鋼構造	2	建築構造	70	構造計画の考え方、木質構造、鉄筋コンクリート構造、鋼構造	2	建築構造	70		
	3	建築材料	35	仕上材料(内装材、外装材)、機能材料(断熱材、遮音材、防水材)	3	建築材料	35	仕上材料(内装材、外装材)、機能材料(断熱材、遮音材、防水材)	3	建築材料	35		
	4	建築施工	70	施工計画、施工図、各種工事の特徴、工程管理、安全管理	4	建築施工	70	施工計画、施工図、各種工事の特徴、工程管理、安全管理	4	建築施工	70		
	5	建築測量	35	距離測量、水準測量、角測量、測量誤差	5	建築測量	35	距離測量、水準測量、角測量、測量誤差	5	建築測量	35		
	6	建築構造力学	70	応力度とひずみ度、断面の性質、材料の力学的性質、部材の設計(断面算定)、梁の変形、座屈、不静定構造物の応力	6	建築構造力学	70	応力度とひずみ度、断面の性質、材料の力学的性質、部材の設計(断面算定)、梁の変形、座屈、不静定構造物の応力	6	建築構造力学	70		
専攻学科合計		315		専攻学科合計		315		専攻学科合計		315			
専攻実技	1	建築材料実験	70	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料	1	建築材料実験	70	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料	1	建築材料実験	70		
	2	建築設計実習	180	住宅、居住施設、公共施設、複合施設	2	建築設計実習	180	住宅、居住施設、公共施設、複合施設	2	建築設計実習	180		
	3	建築施工実習	180	施工図面の作成、墨出し作業、部材の加工、躯体の建て方、仕上げ	3	建築施工実習	180	施工図面の作成、墨出し作業、部材の加工、躯体の建て方、仕上げ	3	建築施工実習	180		
	4	建築測量実習	35	測量機器の使用法、距離測量、水準測量、角測量、測量誤差の計算、工事測量	4	建築測量実習	35	測量機器の使用法、距離測量、水準測量、角測量、測量誤差の計算、工事測量	4	建築測量実習	35		
専攻実技合計		465		専攻実技合計		465		専攻実技合計		465			

○専門課程の高度職業訓練				居住システム系建築物仕上科(元)				居住システム系建築物仕上科(改定案)				※赤字は、削除。青字は、追加。	
教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における変更・改正の理由	専門調査員会における指摘事項
系基礎学科	1	建築概論	35	建築史、建築技術に関する変遷、住まいの歴史、住まいと社会	1	建築概論	35	建築史 、建築技術に関する変遷、 住まい 建築の歴史、 住まい 建築と社会	住宅を対象とした表現を、実用を鑑み、建築全体を対象とした表現に変更した。また、変更により重複する内容を削除した。				
	2	情報工学概論	35	建築におけるコンピュータの利用方法、ハードウェアとソフトウェアの基礎知識、コンピュータリテラシー	2	情報工学概論	35	建築におけるコンピュータの利用方法、ハードウェアとソフトウェアの基礎知識、コンピュータリテラシー					
	3	環境工学概論	35	気候と気象、温熱環境、伝熱、湿気、日照・日射、音環境、色彩、換気	3	環境工学概論	35	気候と気象、温熱環境、伝熱、湿気、日照・日射、音環境、色彩、換気					
	4	構造力学	35	力の釣合、構造物と荷重・外力、支点反力、静定構造物の応力	4	構造力学	35	力の釣合、構造物と荷重・外力、支点反力、静定構造物の応力					
	5	建築計画基礎	35	空間の形、人間の知覚・行動、寸法・規模、建築空間の性能、計画技法	5	建築計画基礎	35	空間の形・寸法・規模、人間の知覚・行動、 寸法・規模 、建築空間の性能、計画技法	関連する内容を統合して表現した。				
	6	建築構法	35	構造躯体(木質構造、鋼構造、鉄筋コンクリート構造、組積造)、仕上げ(内装、外装)、工業化	6	建築構法	35	構造躯体(木質構造、鋼構造、鉄筋コンクリート構造、組積造)、仕上げ(内装、外装)、工業化					
	7	建築材料基礎	35	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料	7	建築材料基礎	35	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料					
	8	建築設備	35	建築設備の目的・種類、空気調和設備、換気設備、給排水・衛生設備、ガス設備、消火設備、電気設備、搬送設備	8	建築設備	35	建築設備の目的・種類、空気調和設備、換気設備、給排水・衛生設備、ガス設備、消火設備、電気設備、搬送設備	実状をより適切に表現するように、一部を削除した。				
	9	仕様及び積算	35	仕様書の見方、建築数量積算基準、工事費の構成、工種別数量の計測・計量、内訳書作成	9	仕様及び積算	35	仕様書の見方、建築数量積算基準、工事費の構成、工種別数量の計測・計量、内訳書作成					
	10	生産工学	35	建築生産の特徴、建築生産体制、建築工事の発注と契約、建築生産の流れ	10	生産工学	35	建築生産の特徴、建築生産体制、建築工事の発注と契約、建築生産の流れ					
	11	安全衛生工学	35	安全の原則、労働災害と対策、労働環境、労働安全衛生に関する法規	11	安全衛生工学	35	安全の原則、労働災害と対策、労働環境、労働安全衛生に関する法規					
	12	関係法規	35	建築基準法、建設業法、建築士法、消防法、都市計画法	12	関係法規	35	建築基準法、建設業法、建築士法、消防法、都市計画法					
	系基礎学科合計		420		系基礎学科合計		420						
系基礎実技	1	基礎工学実験	55	計測の基礎、圧縮・引張試験、ひずみの測定、温度の測定、線膨張率の測定、データ処理	1	基礎工学実験	55	計測の基礎、 圧縮・引張 材料の強度試験、ひずみの測定、温度の測定、線膨張率の測定、データ処理	内容を適切に表現する汎用性がある語句として表現した。				
	2	基礎製図	60	製図通則、図法、木造建物の製図、RC造建物の製図、プレゼンテーション	2	基礎製図	60	製図通則、 図法 、 平面図 ・ 立面図 ・ 断面図 、木造建物の製図、RC造建物の製図、 立体表現図法 、 プレゼンテーション	具体的な内容を示す語句に置き換えた。				
	3	情報処理実習	65	CAD、画像処理、文書作成、表計算	3	情報処理実習	65	CAD、画像処理、文書作成、表計算					
	4	安全衛生作業法	35	服装・保護具、作業場の整理整頓、機械・器具の安全作業、建築作業の安全、応急処置	4	安全衛生作業法	35	服装・保護具、作業場の整理整頓、機械・器具の安全作業、建築作業の安全、応急処置					
	系基礎実技合計		215		系基礎実技合計		215						
専攻学科	1	建築計画	35	居住施設、病院、事務所、商業施設、公共施設	1	建築計画	35	住宅 、居住施設、病院、事務所、商業施設、公共施設	居住施設に住宅を含むと考えられるものの、住宅は単独であっても良いのではないかとの考えから、また、「専攻実技 2 建築仕上設計実習」では住宅と居住施設は別表記であることとの整合性から、「住宅」を追加した。				
	2	建築構造	70	構造計画の考え方、木質構造、鉄筋コンクリート構造、鋼構造	2	建築構造	70	構造計画の考え方、木質構造、鉄筋コンクリート構造、鋼構造					
	3	建築仕上材料	70	仕上材料(内装材、外装材)、機能材料(断熱材、遮音材、防水材)	3	建築仕上材料	70	仕上材料(内装材、外装材)、機能材料(断熱材、遮音材、防水材)					
	4	建築仕上施工	70	建築生産、躯体工事、内装工事(床仕上げ、壁・天井仕上げ)、外装工事(外壁、屋根)	4	建築仕上施工	70	建築生産、躯体工事、内装工事(床 仕上げ 、壁・天井 仕上げ)、外装工事(外壁、屋根)	表記の統一による。				
	5	建築測量	35	距離測量、水準測量、角測量、測量誤差	5	建築測量	35	距離測量、水準測量、角測量、測量誤差					
	専攻学科合計		280		専攻学科合計		280						
専攻実技	1	建築仕上材料実験	70	構造材料、仕上材料、機能材料	1	建築仕上材料実験	70	構造材料、仕上材料、機能材料					
	2	建築仕上設計実習	180	住宅、居住施設、公共施設、複合施設	2	建築仕上設計実習	180	住宅、居住施設、公共施設、複合施設					
	3	建築仕上施工実習	250	墨出し、湿式仕上げ、乾式仕上げ	3	建築仕上施工実習	250	墨出し 作業 、湿式仕上げ、乾式仕上げ	文言の統一による				
	4	建築測量実習	35	測量機器の使用法、距離測量、水準測量、角測量、測量誤差の計算、工事測量	4	建築測量実習	35	測量機器の使用法、距離測量、水準測量、角測量、測量誤差の計算、工事測量					
	専攻実技合計		535		専攻実技合計		535						

〇専門課程の高度職業訓練				居住システム系建築設備科(元)				居住システム系建築設備科(改定案)				※赤字は、削除。青字は、追加。	
教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における変更・改正の理由		専門調査会における指摘事項			
系基礎学科	1	建築概論	35	建築史、建築技術に関する変遷、住まいの歴史、住まいと社会	1	建築概論	35	建築史 、建築技術に関する変遷、 住まい 建築の歴史、 住まい 建築と社会	住宅を対象とした表現を、実用を鑑み、建築全体を対象とした表現に変更した。また、変更により重複する内容を削除した。				
	2	情報工学概論	35	建築におけるコンピュータの利用方法、ハードウェアとソフトウェアの基礎知識、コンピュータリテラシー	2	情報工学概論	35	建築におけるコンピュータの利用方法、ハードウェアとソフトウェアの基礎知識、コンピュータリテラシー					
	3	環境工学概論	35	気候と気象、温熱環境、伝熱、湿気、日照・日射、音環境、色彩、換気	3	環境工学概論	35	気候と気象、温熱環境、伝熱、湿気、日照・日射、音環境、色彩、換気					
	4	構造力学	35	力の釣合、構造物と荷重・外力、支点反力、静定構造物の応力	4	構造力学	35	力の釣合、構造物と荷重・外力、支点反力、静定構造物の応力					
	5	建築計画基礎	35	空間の形、人間の知覚・行動、寸法・規模、建築空間の性能、計画技法	5	建築計画基礎	35	空間の形・ 寸法 ・ 規模 、人間の知覚・行動、 寸法 ・ 規模 、建築空間の性能、計画技法	関連する内容を統合して表現した。				
	6	建築構法	35	構造躯体(木質構造、鋼構造、鉄筋コンクリート構造、組積造)、仕上げ(内装、外装)、工業化	6	建築構法	35	構造躯体(木質構造、鋼構造、鉄筋コンクリート構造、組積造)、仕上げ(内装、外装)、工業化					
	7	建築材料基礎	35	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料	7	建築材料基礎	35	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料					
	8	建築設備	35	建築設備の目的・種類、空調設備、換気設備、給排水・衛生設備、ガス設備、消火設備、電気設備、搬送設備	8	建築設備	35	建築設備の目的・種類、空調設備、換気設備、給排水・衛生設備、ガス設備、消火設備、電気設備、搬送設備	実状をより適切に表現するように、一部を削除した。				
	9	仕様及び積算	35	仕様書の見方、建築数量積算基準、工事費の構成、工種別数量の計測・計量、内訳書作成	9	仕様及び積算	35	仕様書の見方、建築数量積算基準、工事費の構成、工種別数量の計測・計量、内訳書作成					
	10	生産工学	35	建築生産の特徴、建築生産体制、建築工事の発注と契約、建築生産の流れ	10	生産工学	35	建築生産の特徴、建築生産体制、建築工事の発注と契約、建築生産の流れ					
	11	安全衛生工学	35	安全の原則、労働災害と対策、労働環境、労働安全衛生に関する法規	11	安全衛生工学	35	安全の原則、労働災害と対策、労働環境、労働安全衛生に関する法規					
	12	関係法規	35	建築基準法、建設業法、建築士法、消防法、都市計画法	12	関係法規	35	建築基準法、建設業法、建築士法、消防法、都市計画法					
	系基礎学科合計		420		系基礎学科合計		420						
系基礎実技	1	基礎工学実験	55	計測の基礎、圧縮・引張試験、ひずみの測定、温度の測定、線膨張率の測定、データ処理	1	基礎工学実験	55	計測の基礎、 圧縮 ・ 引張 材料の強度試験、ひずみの測定、温度の測定、線膨張率の測定、データ処理	内容を適切に表現する汎用性がある語句として表現した。				
	2	基礎製図	60	製図通則、図法、木造建物の製図、RC造建物の製図、プレゼンテーション	2	基礎製図	60	製図通則、 図法 ・ 平面図 ・ 立面図 ・ 断面図 、木造建物の製図、RC造建物の製図、 立体表現図法 、プレゼンテーション	具体的な内容を示す語句に置き換えた。				
	3	情報処理実習	65	CAD、画像処理、文書作成、表計算	3	情報処理実習	65	CAD、画像処理、文書作成、表計算					
	4	安全衛生作業法	35	服装・保護具、作業場の整理整頓、機械・器具の安全作業、建築作業の安全、応急処置	4	安全衛生作業法	35	服装・保護具、作業場の整理整頓、機械・器具の安全作業、建築作業の安全、応急処置					
	系基礎実技合計		215		系基礎実技合計		215						
専攻学科	1	建築計画	35	居住施設、病院、事務所、商業施設、公共施設	1	建築計画	35	住宅 、居住施設、病院、事務所、商業施設、公共施設	他科の専攻学科「建築計画」に合わせる。				
	2	建築構造	35	構造計画の考え方、木質構造、鉄筋コンクリート構造、鋼構造	2	建築構造	35	構造計画の考え方、木質構造、鉄筋コンクリート構造、鋼構造					
	3	建築設備及び材料	70	配管材料、弁類、ダクト材料、木材、石材、セメント・コンクリート、建築構造用鋼材、屋根・壁・天井・床材料、各種仕上げ材料、空調設備、衛生設備、電気設備、搬送設備、荷重と応力、安全率、はり、軸柱、各種設備材料	3	建築設備及び材料	70	配管材料、弁類、ダクト材料、 木材 、 石材 、 セメント ・ コンクリート 、 建築構造用鋼材 、 屋根 ・ 壁 ・ 天井 ・ 床材料 、 各種仕上げ材料 、 給排水 ・ 衛生設備 、 空調設備 、 衛生設備 、 電気設備 、 搬送設備 、 荷重と応力 、 安全率 、 はり 、 軸柱 、各種設備材料	他の教科で取り扱う細目と重複する項目を削除した。他の教科の細目と表現を統一するために用語を修正した。搬送設備は機械器具設置工事の分野であることから、管工事を主な対象としている建築設備科において、細目として位置づけるのは不適であると判断し、細目から削除した。なお、搬送設備の知識は必要であることから、系基礎学科の建築設備の細目に、搬送設備の要素を残している。				
	4	制御工学	35	シーケンス制御(給排水、照明、防災等)、フィードバック制御(温調、照明、位置、圧力等)、自動計測(温度、位置、圧力、外観、光等)	4	制御工学	35	シーケンス制御(給排水、照明、 防災等)、フィードバック制御(温調、照明、位置、 圧力等)、自動計測(温度、位置、 圧力 、 外観 、 光等)	建築設備の自動計測に必要な「外観」を削除した。また、「等」の示す内容が不明のための削除。				
	5	建築設備施工	70	溶接法、管工作法、設備配管施工法、弱電設備、ディスプレイ、冷凍・冷蔵庫、温水ボイラー等、給排水・衛生設備の施工、空調冷暖房設備の施工、防災設備の施工、搬送設備の施工、照明設備の施工、電気設備の施工	5	建築設備施工	70	溶接法 、 管工作法 、 設備配管施工法 、 弱電設備 、 ディスプレイ 、 冷凍 ・ 冷蔵庫 、 温水ボイラー 等、給排水・衛生設備の施工、 空調冷暖房設備の施工 、 防災設備の施工 、 搬送設備の施工 、 照明設備の施工 、 電気設備の施工 、 施工管理法	既往の細目は、配管施工法と各種工事分野の細かい工事種目が明記されている。そこで、主だった要素を包括した表現とし、新たな細目として提案した。また、建築設備施工で重要な施工管理法を新たに追加した。なお、電気通信工事分野の弱電設備、機械器具設置工事分野の搬送設備は、管工事を主な対象としている建築設備科において、細目として位置づけるのは不適であると判断し、細目から削除した。				
	6	熱力学及び流体力学	35	熱エネルギーの物理量、ボイル・シャルルの法則、熱力学の第一法則、熱力学の第二法則、流体の性質、流体静力学、完全流体の流れの諸定理、粘性流体の流れと管摩擦、管路系の圧力損失	6	熱力学及び流体力学	35	熱エネルギーの物理量 、 ボイル ・ シャルルの法則 、 熱力学の第一法則 、 熱力学の第二法則 、 流体の性質 、 流体静力学 、 完全流体の流れの諸定理 、 粘性流体の流れと管摩擦 、 管路系の圧力損失 、 熱量計算 、 伝熱量計算 、 静水力学 、 動水力学	既往の細目は、熱・流体の計算に必要な法則や定理が記載されていた。そこで、他科目との統一性を図るため、主だった学科内容を新たな細目とした。既往の細目は新たな細目に包括されている。				
	専攻学科合計		280		専攻学科合計		280						
専攻実技	1	建築設備実験	70	湿り空気の状態変化の測定、管路の圧力損失の測定、ポンプの能力、気流分布の測定、昼光率・室内照度分布の測定、熱源機器の成績係数の算出、水質検査	1	建築設備実験	70	湿り空気の状態変化の測定 、 管路の圧力損失の測定 、 ポンプの能力 、 気流分布の測定 、 昼光率 ・ 室内照度分布の測定 、 熱源機器の成績係数の算出 、 水質検査 、 給排水 ・ 衛生設備 、 空調設備 、 電気設備 、 各種環境測定	本教科は、各種建築設備の諸性能及び現象を実験で把握する実習である。科目名に実験が記載されているため、実験対象とする主だった建築設備名のみを記載した新たな細目とした。既往の細目は新たな細目に包括されている。				
	2	制御工学実験	70	シーケンス制御、フィードバック制御、自動計測	2	制御工学実験	70	シーケンス制御、フィードバック制御、自動計測					
	3	施工図実習	70	施工図の意義・種類・作成法、施工図作成基本作業、機械製図、建築製図、配管製図及び機器施工図、図面の作成及び計算、CADによる施工図の作成、建築設備施工図作成	3	施工図実習	70	施工図の意義・種類・作成法、 施工図作成基本作業 、 機械製図 、 建築製図 、 配管製図及び機器施工図 、 図面の作成及び計算 、 CADによる施工図の作成 、 各種建築設備施工図作成	既往の細目は建築設備施工図作成の細かい過程の記載があり、細目の数は多い。そこで主だった実習名のみを細目として提案した。なお、既往の細目のうち機械製図は施工図に必要な項目が少ない項目として削除し、他は新たな細目に包括されている。				
	4	建築設備施工実習	180	給排水・衛生設備施工、空調設備施工、ガス設備施工、防災設備施工、照明・電気設備施工	4	建築設備施工実習	180	給排水・衛生設備施工、 空調設備施工 、 ガス設備施工 、 防災設備施工 、 照明 ・ 電気設備施工	専攻学科「建築設備施工」細目の変更に合わせて、既往の細目を、再構成した。既往の細目は、新たな細目に包括される。なお、ガス設備の配管工事は、給排水設備の管工事に含まれる。				
	5	検査及び保守実習	145	試運転調整、温湿度・流量・圧力測定、保守、操作、保全、点検、トラブルシューティング、寸法・外観検査、水圧試験、通水試験、満水試験、気密試験、配管系統の漏れ試験、性能検査	5	検査及び保守実習	145	各種建築設備の試運転調整 、 温湿度 ・ 流量 ・ 圧力測定 、 保守 、 操作 、 保全 、 点検 、 トラブルシューティング 、 寸法 ・ 外観検査 、 水圧試験 、 通水試験 、 満水試験 、 気密試験 、 配管系統の漏れ試験 、 性能検査 、 保守 、 点検 、 劣化診断	既往の細目は、細かい測定項目が記載されている。そこで既往の細目を大別し必要な要素のみを新たな細目として提案した。既往の細目は新たな細目に包括される。建物の長寿命化で重要性が高くなっている建築設備の劣化診断を追加した。				
	専攻実技合計		535		専攻実技合計		535						

居住システム系インテリア科(元)				居住システム系インテリア科(改定案)				※赤字は、削除。青字は、追加。	
教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における変更・改正の理由	専門調査委員会における指摘事項
系基礎学科	1	建築概論	35	建築史、建築技術に関する変遷、住まいの歴史、住まいと社会	1	建築概論	35	建築史 、建築技術に関する変遷、 住まい 建築の歴史、 住まい 建築と社会	住宅を対象とした表現を、実用を鑑み、建築全体を対象とした表現に変更した。また、変更により重複する内容を削除した。
	2	情報工学概論	35	建築におけるコンピュータの利用方法、ハードウェアとソフトウェアの基礎知識、コンピュータリテラシー	2	情報工学概論	35	建築におけるコンピュータの利用方法、ハードウェアとソフトウェアの基礎知識、コンピュータリテラシー	
	3	環境工学概論	35	気候と気象、温熱環境、伝熱、湿気、日照・日射、音環境、色彩、換気	3	環境工学概論	35	気候と気象、温熱環境、伝熱、湿気、日照・日射、音環境、色彩、換気	
	4	構造力学	35	力の釣合、構造物と荷重・外力、支点反力、静定構造物の応力	4	構造力学	35	力の釣合、構造物と荷重・外力、支点反力、静定構造物の応力	
	5	建築計画基礎	35	空間の形、人間の知覚・行動、寸法・規模、建築空間の性能、計画技法	5	建築計画基礎	35	空間の形・寸法・規模、人間の知覚・行動、 寸法・規模 、建築空間の性能、計画技法	関連する内容を統合して表現した。
	6	建築構法	35	構造躯体(木質構造、鋼構造、鉄筋コンクリート構造、組積造)、仕上げ(内装、外装)、工業化	6	建築構法	35	構造躯体(木質構造、鋼構造、鉄筋コンクリート構造、組積造)、仕上げ(内装、外装)、工業化	
	7	建築材料基礎	35	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料	7	建築材料基礎	35	コンクリート材料、木質材料、鉄鋼材料	
	8	建築設備	35	建築設備の目的・種類、空気調和設備、換気設備、給排水・衛生設備、ガス設備、消火設備、電気設備、搬送設備	8	建築設備	35	建築設備の目的・種類、空気調和設備、換気設備、給排水・衛生設備、ガス設備、消火設備、電気設備、搬送設備	実状をより適切に表現するように、一部を削除した。
	9	仕様及び積算	35	仕様書の見方、建築数量積算基準、工事費の構成、工種別数量の計測・計量、内訳書作成	9	仕様及び積算	35	仕様書の見方、建築数量積算基準、工事費の構成、工種別数量の計測・計量、内訳書作成	
	10	生産工学	35	建築生産の特徴、建築生産体制、建築工事の発注と契約、建築生産の流れ	10	生産工学	35	建築生産の特徴、建築生産体制、建築工事の発注と契約、建築生産の流れ	
	11	安全衛生工学	35	安全の原則、労働災害と対策、労働環境、労働安全衛生に関する法規	11	安全衛生工学	35	安全の原則、労働災害と対策、労働環境、労働安全衛生に関する法規	
	12	関係法規	35	建築基準法、建設業法、建築士法、消防法、都市計画法	12	関係法規	35	建築基準法、建設業法、建築士法、消防法、都市計画法	
	系基礎学科合計		420		系基礎学科合計		420		
系基礎実技	1	基礎工学実験	55	計測の基礎、圧縮・引張試験、ひずみの測定、温度の測定、線膨張率の測定、データ処理	1	基礎工学実験	55	計測の基礎、 圧縮・引張 材料の強度試験、ひずみの測定、温度の測定、線膨張率の測定、データ処理	内容を適切に表現する汎用性がある語句として表現した。
	2	基礎製図	60	製図通則、図法、木造建物の製図、RC造建物の製図、プレゼンテーション	2	基礎製図	60	製図通則、 図法 、 平面図 、 立面図 、 断面図 、木造建物の製図、RC造建物の製図、 立体表現図法 、 プレゼンテーション	具体的な内容を示す語句に置き換えた。
	3	情報処理実習	65	CAD、画像処理、文書作成、表計算	3	情報処理実習	65	CAD、画像処理、文書作成、表計算	
	4	安全衛生作業法	35	服装・保護具、作業場の整理整頓、機械・器具の安全作業、建築作業の安全、応急処置	4	安全衛生作業法	35	服装・保護具、作業場の整理整頓、機械・器具の安全作業、建築作業の安全、応急処置	
	系基礎実技合計		215		系基礎実技合計		215		
専攻学科	1	デザイン概論	70	形の意味、形の要素、形態と視覚、色彩の特性、色の表示、色彩の対比、配色と調和	1	デザイン概論	70	形の意味、形の要素、形態と視覚、色彩の特性、色の表示、色彩の対比、配色と調和	
	2	インテリア計画	70	寸法とモジュール、人間工学、エレメントと構成、色彩計画、室内環境、住居の室内計画、商業施設の室内設計	2	インテリア計画	70	寸法とモジュール、人間工学、エレメントと構成、色彩計画、室内環境、住居の室内計画、商業施設の室内設計	
	3	インテリア材料	35	仕上げ材料、下地材料、接着剤、塗料、壁装材料、カーペット、ファブリック、家具用材料	3	インテリア材料	35	仕上げ材料、下地材料、 機能材料 、 接着剤 、 塗料 、 壁装材料 、 カーペット 、 ファブリック 、家具用材料	インテリア材料実験と表現方法を統一し「接着剤」は、「機能材料」とした。「塗料」、「壁装材料」、「カーペット」、「ファブリック」は「仕上材料」に含まれるため、削除した。
	4	インテリア加工	35	手工具使用法、汎用木工機械、家具・建具の工作法、安全作業	4	インテリア加工	35	手工具使用法、 汎用 木工機械の 使用法 、家具・建具の 工作 加工法、安全作業	工作を一般的な名称である加工とした。
	5	インテリア施工	70	インテリアの施工計画、インテリア各部位の構成と仕上げ、工程管理、安全管理	5	インテリア施工	70	インテリアの施工計画、インテリア 各部位 の 施工法 構成と 仕上げ 、工程管理、安全管理	一般的な表記に統一した。
	6	人間工学	35	人体寸法、動作・作業域・動作空間	6	人間工学	35	人体寸法、動作・作業域・動作空間	
	専攻学科合計		315		専攻学科合計		315		
専攻実技	1	インテリア材料実験	70	構造材料、仕上材料、機能材料	1	インテリア材料実験	70	構造材料、仕上材料、機能材料	
	2	インテリア設計実習	70	住宅、居住施設、複合施設	2	インテリア設計実習	70	住宅、居住施設、複合施設	
	3	インテリア加工実習	145	手工具の使用法、木工機械の使用法、安全作業法、家具・建具の工作法	3	インテリア加工実習	145	手工具の使用法、木工機械の使用法、安全作業法、家具・建具の 工作 加工法	工作を一般的な名称である加工とした。
	4	インテリア施工実習	145	施工図面の作成、墨出し作業、躯体の建て方、床・壁・天井の仕上げ、開口枠の取付け	4	インテリア施工実習	145	施工図面の作成、 墨出し作業 、 躯体の建て方 、床・壁・天井の仕上げ、 開口枠の取付け	インテリアの施工を主とするため、「墨出し作業」、「開口枠の取付け」を削除した。
	5	人間工学実験	70	人体寸法と作業域の空間把握、家具への応用、室空間への応用	5	人間工学実験	70	人体寸法と作業域の空間把握、家具への応用、室空間への応用	
	専攻実技合計		500		専攻実技合計		500		

デザインシステム系産業デザイン科(元)				デザインシステム系産業デザイン科(改定案)				※赤字は、削除。青字は、追加。	
教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における変更・改正の理由	専門調査員会における指摘事項
系基礎学科	1	デザイン概論	35	デザインの意義、デザインと芸術、デザインの分野、デザインの歴史	1	デザイン概論	35	デザインの意義、デザインと芸術、デザインの分野、デザインの歴史	
	2	情報工学概論	35	コンピュータの基礎知識、描画ソフトの基礎知識、画像編集ソフトの基礎知識、マルチメディアの基礎知識、Web基礎知識	2	情報工学概論	35	コンピュータの基礎知識、描画ソフトの基礎知識、画像編集ソフトの基礎知識、マルチメディアの基礎知識、 Web基礎知識 、 インターネットの基礎知識	Web基礎知識については、様々なネットサービスを包括するようインターネットの基礎知識と記述した。
	3	造形論	70	構成要素、構成と心理、構成手法、形態の認知、立体の構成	3	造形論	70	構成要素、構成と心理、構成手法、形態の認知、立体の構成	
	4	色彩学	35	色彩の特性、色彩の表示方法、色彩の調和、色彩の対比、色彩の感情	4	色彩学	35	色彩の特性、色彩の表示方法、色彩の調和、色彩の対比、色彩の感情	
	5	デザイン材料	35	木材、ガラス、セラミックス、金属、合成樹脂、色材・繊維、複合材料・新素材、紙、その他の材料	5	デザイン材料	35	木材、ガラス、セラミックス、金属、合成樹脂、 色材 ・ 繊維 、複合材料・ 新素材 、紙、 その他の材料	抽象的な表現であるため削除。
	6	デザイン史	35	古代・中世・近世のデザイン、近現代のデザイン	6	デザイン史	35	古代・中世・近世のデザイン、近現代のデザイン	
	7	生産工学	35	生産工学、工程管理、品質管理、標準作業、原価管理、工業法規・規格、信頼性理論	7	生産工学	35	生産工学、工程管理、品質管理、標準作業、原価管理、工業法規・規格、信頼性理論	
	8	安全衛生工学	35	安全の原則、労働災害と対策、労働環境、労働安全衛生に関する法規	8	安全衛生工学	35	安全の原則、労働災害と対策、労働環境、労働安全衛生に関する法規	
	9	関係法規	35	知的所有権、所有権、商標権、意匠権、特許権、著作権、不正競争防止法、肖像権	9	関係法規	35	知的所有権、所有権 、 知的財産権 、商標権、意匠権、特許権・ 実用新案権 、著作権、不正競争防止法、肖像権	知的所有権、所有権について、知的財産基本法に則り、知的財産権としてまとめて記述した。また同権利に含まれる実用新案権を新たに記述した。
	系基礎学科合計		350		系基礎学科合計		350		
系基礎実技	1	造形実習	60	要素構成、造形	1	造形実習	60	要素構成、造形	
	2	デッサン	65	幾何学的基本形態の鉛筆デッサン、静物モチーフの鉛筆デッサン、動物・植物のスケッチ	2	デッサン	65	幾何学的基本形態の鉛筆デッサン、静物モチーフの鉛筆デッサン、 動物・植物のスケッチ 、 スケッチ技法	動物・植物のスケッチについて、スケッチ技法と記述し、対象を限定しない簡素な表現とした。
	3	色彩実習	65	テーマ設定、現状調査、コンセプト設定、アイディアスケッチ、プレゼンテーション	3	色彩実習	65	テーマ設定、現状調査、コンセプト設定、アイディアスケッチ、プレゼンテーション	
	4	設計及び製図	70	製図の概略、製図通則、投影法、透視図法、陰影図法、CAD設計製図	4	設計及び製図	70	製図の概略、製図通則、投影法、透視図法、陰影図法、CAD設計製図	
	5	情報処理実習	65	描画ソフト演習、画像編集ソフト演習、各分野の課題制作、デジタルデザイン、デザイン系ソフトウェア演習	5	情報処理実習	65	描画ソフト演習、画像編集ソフト演習、各分野の課題制作、 デジタルデザイン 、 デザイン系ソフトウェア演習	各分野の課題製作にこれらの要素を含むため。
	6	安全衛生作業法	35	安全衛生作業、応急処置	6	安全衛生作業法	35	安全衛生作業、応急処置	
	系基礎実技合計		360		系基礎実技合計		360		
専攻学科	1	製品デザイン論	70	製品デザインの基礎知識、製品デザインプロセス、製品デザイン技法	1	製品デザイン論	70	製品デザインの基礎知識、製品デザインプロセス、製品デザイン技法	
	2	視覚伝達デザイン	35	視覚伝達の定義、視覚伝達の分野、視覚のコミュニケーション、近代の視覚環境	2	視覚伝達デザイン	35	視覚伝達の定義、視覚伝達の分野、視覚のコミュニケーション、近代の視覚環境	
	3	製品計画論	70	製品計画の意義とデザインの役割、製品計画と組織、製品計画のプロセス、製品計画の内容、製品計画の事例研究、製品計画とマーケティング	3	製品計画論	70	製品計画の意義とデザインの役割、製品計画と組織、製品計画のプロセス、製品計画の内容、製品計画の事例研究、製品計画とマーケティング	
	4	人間工学	35	感性と人間工学、機器の設計と人間の特性、使いやすさ、インタフェース、ユニバーサルデザイン	4	人間工学	35	感性と人間工学、機器の設計と人間の特性、使いやすさ、 インターフェース 、 ユニバーサルデザイン	文言修正による。(インタフェース⇒インターフェース)
	5	材料加工法	70	モデル製作ツール、素材別のモデリング技法、成形法、デジタルモデリング	5	材料加工法	70	モデル製作ツール、素材別のモデリング技法、成形法、デジタルモデリング	
	6	環境デザイン	35	都市計画、空間計画、建築計画、室内計画、環境デザイン手法	6	環境デザイン	35	都市計画、空間計画、建築計画、室内計画、環境デザイン手法	
	7	視覚伝達計画	35	各分野の視覚伝達計画の意義と役割、視覚伝達計画のプロセス、視覚伝達計画とマーケティング	7	視覚伝達計画	35	各分野の視覚伝達計画の意義と役割、視覚伝達計画のプロセス、視覚伝達計画とマーケティング	
	専攻学科合計		350		専攻学科合計		350		
専攻実技	1	製品デザイン実習	180	基本的なデザインプロセス演習、デザイン演習、試作、デジタルデザイン、プレゼンテーション、デザイン評価	1	製品デザイン実習	180	基本的な デザインプロセス演習、デザイン演習、試作、デジタルデザイン、プレゼンテーション、デザイン評価	文言修正による。
	2	視覚伝達デザイン実習	70	各分野の視覚伝達デザイン、デジタルデザイン演習	2	視覚伝達デザイン実習	70	各分野の視覚伝達デザイン、デジタルデザイン演習	
	3	製品デザインプレゼンテーション	110	コンセプトの設定、アイディアの展開、製品設計、プレゼンテーション	3	製品デザインプレゼンテーション	110	コンセプトの設定、アイディアの展開、製品設計、プレゼンテーション	
	4	モデル製作実習	70	デザインプロセスにおける試作、さまざまな素材による製作	4	モデル製作実習	70	デザインプロセスにおける試作、 さまざまな素材による製作 モデル試作演習	文言修正による。
	5	材料加工実習	110	各種材料の加工、合成樹脂製品、金属製品、木工製品、プラスチック製品、各種塗装	5	材料加工実習	110	各種材料の加工、合成樹脂製品、金属製品、木工製品、 プラスチック製品 、各種塗装	合成樹脂製品とプラスチック製品は同義であり、デザイン材料の細目において合成樹脂と記述していることから、プラスチック製品を削除した。
	専攻実技合計		540		専攻実技合計		540		

居住・建築システム技術系建築施工システム技術科(元)				居住・建築システム技術系建築施工システム技術科(改定案)				※赤字は、削除。青字は、追加。	
教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	教科の科目		訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における変更・改正の理由	専門調査会における指摘事項
専攻学科	1	技術英語	35	国際標準規格関連英語、建築関連技術英語、英文マニュアル文書作成	1	技術英語	35	国際標準規格関連英語、建築関連技術英語、英文マニュアル文書作成	
	2	建築生産管理	35	建築生産システムの概要、施工管理技術者の役割、施工計画、施工管理、工程管理、原価管理、品質管理	2	建築生産管理	35	建築生産システムの概要、施工管理技術者の役割、施工計画、施工管理、工程管理、原価管理、品質管理	
	3	経営管理	35	企業組織、労務管理、財務管理、経営管理	3	経営管理	35	企業組織、労務管理、財務管理、経営管理	
	4	企画開発	35	企画開発の計画プロセス、データの収集と分析、問題発見・解決技法、企画開発のプレゼンテーション	4	企画開発	35	企画開発の計画プロセス、データの収集と分析、問題発見・解決技法、企画開発のプレゼンテーション	
	5	建築生産	35	建築生産プロセス、建築の企画・計画、建築設計の業務、建築施工の業務	5	建築生産	35	建築生産プロセス、建築の企画・計画、建築設計の業務、建築施工の業務	
	6	施工力学	70	構造力学の施工管理への適用、コンピュータ支援による構造解析	6	施工力学	70	構造力学の施工管理への適用、コンピュータ支援による構造解析	
	7	施工管理	70	躯体工事、仕上工事、建築設備工事、材料特性、施工要領	7	施工管理	70	躯体工事、仕上工事、建築設備工事、材料特性、施工要領、 仮設工事	躯体工事に関連して、「仮設工事」は、施工管理においては、必要な要素である。また、「仮設工事」は、躯体工事に関連して教えているのが実状である。そのため、教科の細目として追加する。
	8	建設環境	35	地球環境と建築生産、法規制、騒音・振動、大気・水質・土壌汚染、廃棄物、地球環境保全	8	建設環境	35	地球環境と建築生産、法規制、騒音・振動、大気・水質・土壌汚染、廃棄物、地球環境保全	
	9	施工関係法規	35	建築基準法、消防法、建設業法、都市計画法、建築士法、労働基準法、各種手続き	9	施工関係法規	35	建築基準法、消防法、建設業法、都市計画法、建築士法、労働基準法、各種手続き	
	10	維持管理	35	建築物のライフサイクル、建築物の維持管理手法、建築物の劣化診断	10	維持管理	35	建築物のライフサイクル、建築物の維持管理手法、建築物の劣化診断	
	11	安全衛生管理	35	安全衛生関係法規、建設労働災害と災害防止、安全衛生管理体制、安全衛生作業、作業環境	11	安全衛生管理	35	安全衛生関係法規、建設労働災害と災害防止、安全衛生管理体制、安全衛生作業、作業環境	
専攻学科合計		455		専攻学科合計		455			
専攻実技	1	施工法実習	210	木造建築の躯体施工、鉄骨造建築の躯体施工、鉄筋コンクリート造建築の躯体施工、内装施工、外装施工、工事測量、仮設足場	1	施工法実習	210	木造建築の躯体施工、鉄骨造建築の躯体施工、鉄筋コンクリート造建築の躯体施工、内装施工、外装施工、工事測量、仮設足場	施工法実習の細目に位置づけられている「木造、鉄骨造及び、鉄筋コンクリート造建築の躯体施工」については、施工・施工管理実習の「各種建築物の施工及び施工管理」の要素と重複する内容が多い。また、現在実施されている応用課程の「建築施工システム技術科」の訓練においては、実習建物の構造躯体を製作しながら、各種建築物の施工法と施工管理について一体的に行っている。これらの実状を鑑み、施工法実習の細目に位置づけられている「木造、鉄骨造及び、鉄筋コンクリート造建築の躯体施工」の細目については、施工・施工管理実習に移動して、より効率的な訓練実施が可能となるようにした。なお、施工法実習においては、建築物の躯体工事以外の施工法について学ぶ内容として整理した。
	2	施工図書実習	105	基本設計図書、各種躯体図、各種仕上げ詳細図	2	施工図書実習	105	基本設計図書、各種躯体図、各種仕上げ詳細図	施工図書実習は、その重要性が高いことから、応用課程の建築施工システム技術科の訓練においては、全て144時間以上実施している。この現状を踏まえ、訓練時間を増加させた。
	3	施工管理実習	175	建築生産情報処理、工種別仕様・積算、工程計画、検査・測定、建築構造実験	3	施工管理実習	175	建築生産情報処理、工種別仕様・積算、工程計画、検査・測定、建築構造実験	
	4	施工管理応用実習	175	基礎構造物設計、地盤調査、山留め	4	施工管理応用実習	175	基礎構造物設計、地盤調査、山留め	前回の改訂において、基礎構造物の要素に含まれる「乗入れ構台施工」については、実習場内での訓練が困難であることから、当該細目から削除した。しかしながら、訓練時間については、変更が行われていなかったことから、実状に即して訓練時間を減らすこととした。
	5	施工・施工管理実習	140	仮設物の設計、施工計画、各種建築の施工及び施工管理	5	施工・施工管理実習	140	仮設物の設計、施工計画、各種建築物の施工及び施工管理、木造建築の躯体施工、鉄骨造建築の躯体施工、鉄筋コンクリート造建築の躯体施工	施工法実習の細目である「木造、鉄骨造及び、鉄筋コンクリート造建築の躯体施工」を、5.施工・施工管理課題実習で包括して実施することとした。そのため、施工法実習から移動する細目の実習時間分をこちらに移した。
	6	安全衛生管理実習	35	災害防止、安全衛生推進活動(KYK)、安全衛生作業、応急処置、建設現場の安全管理	6	安全衛生管理実習	35	災害防止、安全衛生推進活動(KYK)、安全衛生作業、応急処置、建設現場の安全管理、 リスクアセスメント	建設業の安全管理においては、リスクアセスメントの実施が求められていることから追加。
専攻実技合計		840		専攻実技合計		840			
応用	1	施工・施工管理総合実習	700	各種構造物の施工及び施工管理に関する企画・開発・問題解決、結果報告(開発内容の発表、論文作成)	1	施工・施工管理総合実習	700	各種 構造 建築物の施工及び施工管理に関する企画・開発・問題解決、結果報告(開発内容の発表、論文作成)	内容を適切に表現する汎用性がある語句として表現した。
	応用合計		700		応用合計		700		